

授業科目 韓国語によるコミュニケーション

【担当教員名】 朴修禧、林河運		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
		開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要】 ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語によるコミュニケーションの能力を身に付ける。					
【学習目標】 1 ハングル文字が読める。 2 平易な韓国語の文章が理解できる。 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。 4 簡単な日常韓国語が話せる。					
回数	授業計画又は学習の主題				学習方法・学習課題又は備考
1	韓国語とは？	韓国語の文字の特徴を理解する。			講義と練習
2	基本母音字	基本母音の書き方と発音を学ぶ。			講義と練習
3	基本子音字	基本子音の書き方と発音を学ぶ。			講義と練習
4	濃音について	濃音の書き方と発音を学ぶ。			講義と練習
5	合成母音字について	合成母音字の書き方と発音を学ぶ。			講義と練習
6	終声について	終声の発音を学ぶ。			講義と練習
7	発音のルール	発音のルールを学ぶ。			講義と練習
8	基本文型練習 1	「AはBです」・「AはBではありません」という表現を学ぶ。			講義と練習
9	基本文型練習 2	指示代名詞と疑問表現を学ぶ。			講義と練習
10	基本文型練習 3	疑問表現と数字の表現を学ぶ。			講義と練習
11	基本文型練習 4	用言の丁寧な表現を学ぶ。			講義と練習
12	基本文型練習 5	用言の否定形と「AからBまで」という表現を学ぶ。			講義と練習
13	基本文型練習 6	助数詞と位置を表す表現を学ぶ。			講義と練習
14	基本文型練習 7	日常会話でよく使う丁寧な言い方を学ぶ。			講義と練習
【使用図書】		<番名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書					
参考書					
その他の資料		適宜ハンドアウトを配布する。			
【評価方法】 出席・レポート・定期試験などから総合的に判断する。			【履修上の留意点】		

全科共通科目 教養